



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 フィールズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2767 URL https://www.fields.biz/
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 山本 英俊
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営管理部長(氏名) 畑中 英昭 (TEL) 03-5784-2111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,591	△61.9	△3,327	—	△3,247	—	△3,923	—
2020年3月期第2四半期	27,772	53.9	△2,750	—	△2,534	—	△2,756	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △3,907百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △3,253百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△119.06	—
2020年3月期第2四半期	△83.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	50,613	29,743	57.8
2020年3月期	64,317	34,279	52.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 29,259百万円 2020年3月期 33,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	68.1	1,200	27.7	350	△28.7	10.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期売上高予想につきましては、現在のパチンコ・パチスロ市場環境を考慮して、売上高を開示していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	34,700,000株	2020年3月期	34,700,000株
2021年3月期2Q	2,368,300株	2020年3月期	1,516,300株
2021年3月期2Q	32,952,771株	2020年3月期2Q	33,183,700株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績および連結業績予想に関する説明」をご覧ください。

・当社は2020年11月16日(月)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績および連結業績予想に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績および連結業績予想に関する説明

①当第2四半期連結累計期間(2020年4月－9月)の概況

パチンコ・パチスロ市場の本年度の総販売台数の予測は、当初市場に設置されている旧規則機約230万台が撤去される予定等により、前年度比40%増の約250万台の販売が見込まれておりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるパチンコホールの営業自粛、ならびにメーカーの製造部材調達の遅延、また撤去期限の一部延長が決まる等の要因を受け、上半期のパチンコ・パチスロ総販売台数は40万台と低調に推移しました。

当社におきましても、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等を遵守し、上半期の販売予定機種の販売延期等を行ったことにより、上半期の販売は低調に推移しました。上半期には、パチスロ『BLACK LAGOON4』、ガンダムシリーズパチスロ『シャア専用パチスロ 逆襲の赤い彗星』、パチスロ『リングにかけろ1 ワールドチャンピオンカーニバル編』の3機種を主に販売し、第2四半期累計のパチンコ・パチスロの販売は16,500台となりました。

(株)円谷プロダクションは、政府の緊急事態宣言による外出制限やイベント開催のガイドラインを遵守したことにより、イベント・ライブショーの中止や規模縮小を余儀なくされました。また、映画の制作に遅れが生じ公開を延期する等、新型コロナウイルス感染拡大の影響を直接受けました。これらにより、当初は厳しい上半期決算を予想しておりましたが、第2四半期に入り国内および中国のマーチャンダイジングが好調に推移しており、想定を超える回復となりました。

(株)デジタル・フロンティアでは、いわゆる巣ごもり消費によって高まる国内ゲーム会社からのCG映像制作を多数受注しました。高いCG映像クオリティを維持しつつ半数以上のエンジニアが在宅勤務で映像制作業務を行える体制を短期間で整え、そのニーズに応えました。またこれにより、オフィス面積の縮小によるコスト圧縮効果も見込まれます。

以上の結果、当上半期における連結業績は、売上高10,591百万円(前年同期比61.9%減)、営業損失3,327百万円(前年同期の営業損失2,750百万円)、経常損失3,247百万円(同経常損失2,534百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失3,923百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失2,756百万円)となりました。

②通期の見通し

パチンコホールの稼働が急速に回復傾向に向かうとともに、パチンコ遊技機等内規の見直しによる新しいゲーム性を搭載した遊技機が市場で高い評価を得ていることと合わせ、下期中に約90万台の撤去が決定されていること等により、当下半年は100万台以上の新台需要が予測されます。

当社におきましては、こうした需要を見据えつつ、下半期に向け、パチンコ『新世紀エヴァンゲリオン 決戦～真紅～』、『ぱちんこ ウルトラセブン 超乱舞』、『パチスロ モンスターハンター:ワールド』、『パチスロ 哲也 -天運地力-』、パチスロ『アカメが斬る!』等の機種を市場投入し、既に5万台以上の受注が確定しております。さらに、第4四半期に納品を予定している機種につきましても、撤去に伴う入替需要に応じて最適な商品を適時投入できるよう対応してまいります。

(株)円谷プロダクションにおきましては、映画『シン・ゴジラ』を大ヒットさせました庵野秀明氏と樋口真嗣氏が再びタッグを組んだ映画『シン・ウルトラマン』の公開を2021年初夏と発表いたしました。

同社では、ファン層に適した実写・アニメ等の映像作品を映画・テレビ・配信等を通じて国内外に提供することによって『ウルトラマン』ファンを拡大するとともに、映像事業とマーチャンダイジングの双方で収益化する中期事業戦略を推進しております。さらに国内ライセンスの広がりや、中国をはじめアジア地域でのマーチャンダイジングが伸長する等、その成果は確実に表れております。

(株)デジタル・フロンティアでは、下半期も国内ゲーム会社からのCG映像制作のニーズが幅広く継続することが見込まれます。また、国内外からのVFX映像制作の受注が増加しております。

その他グループ各社においては、連結業績に貢献するべく収益性の向上とコスト削減を推進し、経営効率の強化を継続してまいります。

以上により、当期の営業利益は1,200百万円（前期比68.1%増）、経常利益は1,200百万円（前期比27.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は350百万円（前期比28.7%減）を計画しております。

(注1) 本短信に記載の数値は全て当社推計によるものです。

(注2) 本短信に記載の商品名は各社の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、36,923百万円と前連結会計年度末比13,657百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものです。

有形固定資産は、4,569百万円と前連結会計年度末比165百万円の減少となりました。これは主に建物及び構築物の減少によるものです。

無形固定資産は、2,841百万円と前連結会計年度末比151百万円の減少となりました。これは主にのれんの減少によるものです。

投資その他の資産は、6,278百万円と前連結会計年度末比269百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券の増加によるものです。

以上の結果、資産の部は50,613百万円と前連結会計年度末比13,703百万円の減少となりました。

(負債の部)

流動負債は、10,689百万円と前連結会計年度末比7,307百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少によるものです。

固定負債は、10,181百万円と前連結会計年度末比1,859百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

以上の結果、負債の部は20,870百万円と前連結会計年度末比9,167百万円の減少となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、29,743百万円と前連結会計年度末比4,536百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,683百万円減少し、22,042百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,037百万円（前年同期は2,361百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失3,866百万円、売上債権の減少12,926百万円、仕入債務の減少6,328百万円、未払又は未収消費税等の増減968百万円、たな卸資産の増加797百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、666百万円（前年同期は1,715百万円の収入）となりました。これは主に固定資産の取得による支出290百万円、出資金の払込による支出260百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3,055百万円（前年同期は4,935百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出2,664百万円、自己株式の取得による支出365百万円、配当金の支払331百万円などによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,825	22,142
受取手形及び売掛金	14,171	2,830
電子記録債権	1,087	54
商品及び製品	446	1,288
仕掛品	4,852	4,967
原材料及び貯蔵品	2,574	2,412
その他	2,652	3,245
貸倒引当金	△29	△16
流動資産合計	50,580	36,923
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,644	1,645
その他	3,090	2,923
有形固定資産合計	4,734	4,569
無形固定資産		
のれん	2,156	2,010
その他	836	831
無形固定資産合計	2,992	2,841
投資その他の資産		
投資有価証券	1,325	1,471
長期貸付金	373	373
その他	4,682	4,840
貸倒引当金	△373	△406
投資その他の資産合計	6,008	6,278
固定資産合計	13,736	13,689
資産合計	64,317	50,613
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,336	3,131
短期借入金	200	508
1年内返済予定の長期借入金	5,329	4,322
未払法人税等	127	40
賞与引当金	251	305
役員賞与引当金	14	4
その他	2,736	2,376
流動負債合計	17,996	10,689
固定負債		
長期借入金	7,691	6,033
退職給付に係る負債	674	711
資産除去債務	889	913
その他	2,784	2,522
固定負債合計	12,040	10,181
負債合計	30,037	20,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,948	7,948
資本剰余金	7,579	7,579
利益剰余金	20,060	15,634
自己株式	△1,821	△1,946
株主資本合計	33,767	29,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	19
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整累計額	22	23
その他の包括利益累計額合計	34	43
非支配株主持分	477	483
純資産合計	34,279	29,743
負債純資産合計	64,317	50,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	27,772	10,591
売上原価	23,620	8,022
売上総利益	4,151	2,568
販売費及び一般管理費	6,902	5,896
営業損失(△)	△2,750	△3,327
営業外収益		
受取利息	14	2
受取配当金	79	2
仕入割引	107	2
持分法による投資利益	42	90
出資分配金	11	9
その他	56	73
営業外収益合計	313	181
営業外費用		
支払利息	34	50
貸倒引当金繰入額	8	28
資金調達費用	23	1
その他	31	21
営業外費用合計	97	100
経常損失(△)	△2,534	△3,247
特別利益		
固定資産売却益	16	0
関係会社清算益	17	—
特別利益合計	34	0
特別損失		
固定資産除却損	0	2
投資有価証券売却損	212	—
訴訟関連損失	30	8
新型コロナウイルス感染症による損失	—	607
その他	1	0
特別損失合計	244	619
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,744	△3,866
法人税等	△0	56
四半期純損失(△)	△2,744	△3,923
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,756	△3,923

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,744	△3,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△511	14
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△509	15
四半期包括利益	△3,253	△3,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,270	△3,914
非支配株主に係る四半期包括利益	16	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△2,744	△3,866
減価償却費	726	396
のれん償却額	279	145
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	54
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	△9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15	37
受取利息及び受取配当金	△94	△4
持分法による投資損益 (△は益)	△42	△90
支払利息	34	50
売上債権の増減額 (△は増加)	1,930	12,926
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△149	△797
商品化権前渡金の増減額 (△は増加)	△153	△41
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,080	△6,328
未払又は未収消費税等の増減額	188	△968
その他	692	△328
小計	△2,390	1,193
利息及び配当金の受取額	94	4
利息の支払額	△34	△50
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△30	△110
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,361	1,037
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,413	△142
有形固定資産の売却による収入	48	4
無形固定資産の取得による支出	△207	△147
投資有価証券の償還による収入	200	—
投資有価証券の売却による収入	3,519	29
関係会社株式の取得による支出	△10	△36
関係会社株式の売却による収入	1	—
出資金の払込による支出	△232	△260
貸付けによる支出	—	△38
貸付金の回収による収入	24	20
その他	△213	△96
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,715	△666
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,496	308
長期借入れによる収入	250	—
長期借入金の返済による支出	△3,324	△2,664
自己株式の取得による支出	—	△365
配当金の支払額	△331	△331
その他	△33	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,935	△3,055
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,581	△2,683
現金及び現金同等物の期首残高	28,807	24,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,226	22,042

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。